

学校教育目標の立案のためのワークシート（〇〇部）

1 こんな学校教育目標が良い

①仁	②豊かな人間性と創造性を育む。	③自主性、思いやり、継承
④教養・寛容・公正	⑤柔軟かつ屈強な精神で、未来を切りひらいていける人事の育成	
⑥自ら考え学ぶ生徒—自主・自立		

2 立案の観点・理由を列挙しましょう。

①他者を思いやるためには、自らを高めることが不可欠である。自らを向上させるのは、自分だけのためだけでなく、地域、社会のためであるということ意識して、指導にあたっていく。
②これまでの教育目標の中の「心豊かな青年を育成」校訓の中の「創造」をふまえ、地域・社会が本校へ期待する生徒像に照らし合わせた。
③・勉学、部活等どんどん社会に出て活躍して欲しい。・甲子園出場の際、地域やさまざまな人たちからあれだけの応援をくださったそういった気持ちも大切にしたい。・学校行事の盛り上がりなどいい面を継承し、成長して欲しい。
④・何のために学ぶか？→自分のためだけでなく、より良い社会を作るため→そのための教養・良い社会の条件とは？→さまざまな違いに寛容でかつ、誰に対しても公正な社会→そうした姿勢を学ぶための教養。
⑤「屈強」というのは、生きていく上で大切なこと。うちの学校の生徒に一番身につけてほしいこと。その中で時にはまわりに合わせて「柔軟」に対応していくことが社会で求められること。「しなやかでたくましい」感じが気に入った。
⑥・真面目だが受身がちな生徒が多いので、積極性を養いたい。・これからは自ら考えてアピールしていく力が求められるため。

3 教育目標を「資質・能力」に当て嵌めて「育成を目指す子どもの姿」を明確にしましょう。

教育目標	①	②	③自主性	③思いやり	③継承
知識及び技能	身につけた知識・技能を適切に社会の中で活かせる。	豊かな発想力			偉人たちが作り上げてきた知識、技能を確実に、大切に。
思考力、判断力、表現力	現状をよく観察し、行うべきことを見つけ出し、実践する。	主体的に判断し、行動できる。	ALでやってきたこれまでの取り組みを延長して。		
学びに向かう力、人間性	他者の中の自己を意識し、自らのなすべきこと、取るべき行動を考えることができる。	生命を尊重し、思いやりの心を持つ。	発展 (extention) レベルの段階においても積極的に立ち向かう。	仲間の意見を尊重すること。	